



市大会スローガン
きそえ つどえ かがやけ 農と輝の大地で

希望郷いわて国体市実行委員会では、ホームページ(<http://www.hachimantai-kokutai.jp/>)やfacebookで情報を配信中！
右のQRコードを読み取ると、直接ホームページにアクセスできます。



リハーサル大会が終了

8月から順次開催した国体リハーサル大会3競技(ラグビー、相撲、ライフル)が終了しました。各競技会場では、延べ319名のボランティアの皆さんに、受け付けやドリンクサービス、弁当の配布、環境美化などの運営補助をお手伝いいただき、大会を成功裏に終えることができました。従事した皆さんからは「本大会の業務のイメージがつかめた」「初めてボランティアに挑戦したけど楽しかった。やってよかった」という声が寄せられました。改善すべき点については、来年の本大会に向けて調整していきます。



相撲競技のプラカードを持つ平館高校の皆さん
婦人会によるお振る舞い(ライフル競技)

会場を彩る花とのぼり旗

競技会場には、45の学校や団体から育成いただいた応援メッセージ入りのプランター1,276基を設置し、華やかに来場者を迎えました。また、市内13校の小中学生が制作した応援のぼり旗も飾りました。選手や監督は、出身地ののぼり旗と記念撮影するなど、好評をいただきました。



応援メッセージ入りののぼり旗とプランター

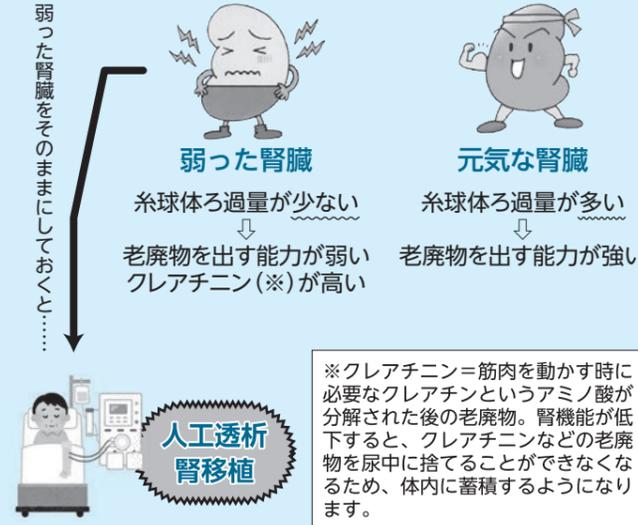
市国体サポーターズ応募者数
(平成27年10月19日現在)



健診結果を生かして健康に！

健診は、生活習慣病の早期発見、早期治療に役立ちます。健診を受診して終わりではなく、健診結果を振り返り、ご自身の健康情報として活用し、日常生活を見直すことが大切です。27年度に行われた健診の検査項目に、新しく腎臓ろ過能力を調べる検査【推算糸球体ろ過量(eGFR)】が追加されています。

◆検査の目的：慢性腎不全を早期発見し、重症化を予防します。
◆推算糸球体ろ過量とは：腎臓



の機能を表す値の一つです。糸球体は、毛細血管がまり状に集合したもので、腎臓の主要な役割である尿のろ過機能をつかさどっています。血液は、糸球体を通過する際に、不要なものがろ過され、尿になります。しかし、高血糖により、糸球体の血管が傷むと、ろ過機能が低下し、糸球体ろ過量は下がります。

◆結果の見方：▼c判定Ⅱすぐに泌尿器科のある医療機関の受診が必要▼b判定①Ⅱ泌尿器科で尿の再検査が必要▼b判定②Ⅱ生活習慣の見直しが必要(減塩などの食生活、肥満解消、禁煙など)

※ 受診などが必要な人のみ、特定健診結果に腎臓ろ過能力を調べる検査の結果用紙が同封されています。

健診結果で医療機関の受診が必要となっている人や要精密検査の人は、早期受診をお勧めします。『今までも引っかけたけど、何ともなかった』と過信せず、ぜひ受診しましょう。

福祉 NETWORK

子育てNEWS

地域福祉課児童福祉係 ☎・内線1108

つどいの広場においでください

「つどいの広場」とは、保育所に入所していない就学前の子どもと、保護者などの家族が気軽に集まって一緒に遊んだり、情報交換をしたりする交

流の場です。市内には、下に示す2カ所の「つどいの広場」があります。つどいの広場では、リズム遊びやお絵かき、工作など親子で楽しめる遊びのほか、栄養指導や育児相談なども行っています。予約は不要で、無料で利用できます。お気軽にお立ち寄りください。詳しくは、各施設の連絡先まで。

■市内の「つどいの広場」

| 名称 | たからっこ広場 | カンガルー広場 |
|------|--|--|
| 所在地 | 大更25-55-13 大更・大更第二学童保育クラブ内(大更コミュニティセンター隣) | 清水219 あしろ学童保育クラブ内(隣接するあしろ保育園の玄関から入ってください) |
| 電話番号 | 70-1771 | 72-2431 |
| 開所日 | 毎週月・火・木・金・土曜日 (祝日および年末年始を除く) | 毎週月・水・金曜日 (祝日および年末年始を除く) |
| 開所時間 | 午前10時から午後3時まで | 午前9時半から午後2時半まで |
| その他 | 弁当持参可、水筒などの持参をお勧めします。 | 給食(300円)を希望する場合は、3日前までにご連絡ください。 |

※市ホームページでは、つどいの広場だより(毎月1回更新)を公開しています。利用の様子や毎月の予定等を掲載していますので、ぜひご覧ください。



たからっこ広場



カンガルー広場

地域おこし協力隊だより [21]

今月の担当・今川友美

おひさしぶりです、こんにちは。
コオロギやスズムシの鳴き声、ちらほら見かけるようになった稲刈りが終わった田んぼ、朝晩の冷え込み、秋の深まりを感じます。
9月最後の日曜日、紅葉の名所・三ツ石山に登ってきました。一人だった今回は、一歩一歩を踏みしめるように、ゆっくりと歩きました。

音にはっとし、役目を終えたホオノキの散る音だと知りました。
足元の虫食いの葉っぱや、土に還る寸前の葉脈ですかさかになった葉っぱも、一つとして同じ形が存在しない木も、はかない実生も、そして私自身も、この山全体が生命に包まれて成り立っているんだなあと、いうことに、ぼんやりと思いを巡らせたのでした。
山頂直下で、突然の雷と雨に打たれ、もと来た道を急いで引き返しました。体はとも冷たくなっている。とても冷たく、胸がとても熱くなっているのを感じました。生命あるもの、それぞれが事情や役割を抱えて生きながら、これまでに以上につくると向き合っている。秋でした。



昨年、初めて見た三ツ石の紅葉。とても美しかったです。